



# TAIHEIYO CEMENT NEWS LETTER

2009年11月11日

## 環境技術の中国への導出について ～第4回 日中省エネルギー・環境総合フォーラムにて調印～

太平洋セメント株式会社（本社：東京都港区、社長：徳植桂治）は、11月8日に北京市で開催された「第4回日中省エネルギー・環境総合フォーラム」において、日中省エネルギー・環境ビジネス推進モデルプロジェクトとして指定された「カーバイド滓を原料とするセメント生産ラインへの塩素バイパス技術の導出」および「都市ごみ焼却飛灰のセメント資源化実証事業」の2件に関し、それぞれ中国側と「塩素低減バイパス等、省エネ環境保全技術によるカーバイド滓でのセメント製造システムの改善に関する提携協議書」、「大連市における都市ごみ焼却飛灰の資源化事業に関する意向書」に調印しました。

いずれも、弊社のセメント製造プロセスを利用した環境技術が高く評価されたもので、今後も弊社の優れた環境技術を活用し、中国において一層積極的に事業を展開してまいります。

なお塩素バイパス技術の導出等に関しては、フォーラム調印後、正式契約を締結いたしております。

1. 「塩素低減バイパス等省エネ環境保全技術によるカーバイド滓でのセメント製造システムの改善に関する提携協議書」の概要
  - (1) 調印者 日本側：弊社、太平洋水泥（中国）投資有限公司（董事長：加藤 隆）  
中国側：新疆天業（集団）有限公司（董事長：郭 慶人）
  - (2) 内容 新疆天業（集団）有限公司が保有するカルシウムカーバイド滓を原料とするセメント生産ラインに、弊社が特許を所持している塩素バイパスシステムを導入することにより安定したセメント生産を実現する。また既存のセメント生産ラインへの現場指導および技術診断を実施するとともに、現在新疆天業（集団）有限公司が建設中の新規生産ラインに対する技術支援を行う。
2. 「大連市における都市ごみ焼却飛灰のセメント資源化事業に関する意向書」の概要
  - (1) 調印者 日本側：弊社、大連小野田水泥有限公司（董事長：加藤 隆）  
中国側：大連東泰産業廃棄物処理有限公司（董事長：董 金慶）
  - (2) 内容 大連市で建設される都市ごみ焼却場から発生する焼却飛灰を、セメント製造プロセスを利用して無害化かつ再資源化することに関し、共同での事業化に向けた検討を実施することに合意する。

<本件に関するお問合せ>

太平洋セメント株式会社 総務部 I R 広報グループ

TEL 03-5531-7334

FAX 03-5531-7551

太平洋セメント株式会社

〒135-8578 東京都港区台場2-3-5 台場ガーデンシティビル

## <参考資料>

### 【日中省エネルギー・環境総合フォーラム】

経済産業省、財団法人日中経済協会、中国国家発展改革委員会及び商務部の共催による、日中両国の省エネルギー・環境保護分野に関する相互理解を促進し、協力プロジェクトをはじめとするビジネスマッチングを推進するための重要なプラットフォーム。過去3回（第1回：2006年5月、第2回：2007年9月、第3回：2008年11月）開催されており、本年は第4回として11月8日に北京にて開催された。

### 【日中省エネルギー・環境ビジネス推進モデルプロジェクト】

日中の省エネルギー・環境分野の互恵的な協力関係を拡大するため、ビジネスベースで日本の省エネルギー・環境分野の技術及び管理の普及を図る目的で設置されたスキーム。

2006年11月の日中首脳会談において、安倍総理から胡錦濤国家主席に提案し、2007年4月、甘利経済産業大臣と馬国家発展改革委員会主任の間で「日中省エネルギー・環境ビジネス推進モデルプロジェクトの実施に関する覚書」に調印して、実施方法について合意したもの。

具体的には、日中両国企業が参画し、普及のモデルとなるような省エネルギー診断、フィージビリティ調査、設備導入等を行うものであり、日中省エネルギー・環境ビジネス推進モデルプロジェクト推進委員会（経済産業省、中国国家発展改革委員会等で構成）において、プロジェクトの指定が行われ、知的財産の保護等に係る問題の未然防止や解決を図り、ビジネス環境の改善を図ることとしている。

（平成21年11月8日経済産業省リリース「第4回日中省エネルギー・環境総合フォーラムにおける日中間の協力合意事項について」より引用）

### 【太平洋水泥（中国）投資有限公司】

- ・ 董事長 加藤 隆
- ・ 設立 1996年
- ・ 所在地 中国北京市
- ・ 資本金 30,000千米ドル（弊社連結子会社）
- ・ 事業内容 投資、コンサルティングサービス、一般商品の卸売り、輸出入他

### 【新疆天業（集団）有限公司】

- ・ 董事長 郭 慶人
- ・ 設立 1996年
- ・ 所在地 中国新疆ウイグル自治区石河子市
- ・ 事業内容 カーバイド法によるポリ塩化ビニル（PVC）の製造販売  
PVC製造工程で発生するカルシウムカーバイド滓を主原料としたセメントの製造販売他

### 【大連小野田水泥有限公司】

- ・ 董事長 加藤 隆
- ・ 設立 1989年
- ・ 所在地 中国遼寧省大連市
- ・ 資本金 82,780千米ドル（弊社連結子会社）
- ・ 事業内容 セメントの製造販売

#### 【大連東泰産業廃棄物処理有限公司】

- ・ 董事長 董 金慶
- ・ 設立 1991年
- ・ 所在地 中国遼寧省大連市
- ・ 事業内容 大連市にて発生する産業廃棄物の収集、運搬、処理及びリサイクル

#### 【塩素バイパスシステム】

セメント製造プラントで各種廃棄物を代替原燃料として使用する場合、廃棄物に含まれる塩素がプラント中で濃縮され、それが原因でプラントの安定運転が阻害される。

塩素バイパスシステムは濃縮された塩素をプラントから効率的に除去する独自の技術で、安定運転、塩素含有廃棄物の大量活用を可能にする。

#### 【都市ごみ焼却飛灰のセメント資源化】

家庭から出る都市ごみを清掃工場で焼却した際に発生する焼却残さのうち飛灰(ばいじん)を既存のセメント工場でセメントの原料として利用・再資源化するシステム。

本システムでは埋め立て処分されている飛灰がセメント原料として有効利用されるため、最終処分場の延命化が図れるとともに、石灰石、粘土等の天然資源の使用量削減を通して循環型社会への貢献が可能となる。

飛灰には塩素等のセメント原料として望ましくない成分が含まれているので、飛灰の水洗設備でこれらをあらかじめ除去してセメント原料化する。